

## 宜野湾高校の生徒達へ（80）

2021.2.5

『Murubushi』（沖縄総合事務局広報誌第393号）に総合的な探究の時間（総探）と関連する興味深い記事を見つけた（一部引用）。

沖縄 SV は元サッカー日本代表の高原直泰氏が 2015 年に設立したプロサッカークラブで、現在、九州リーグに属している。その沖縄 SV が取り組んでいるのが「**沖縄コーヒープロジェクト**」。

**なぜ、サッカーチームが農業に携わるのか。**

その答えは、高原氏の体験にある。



高原氏は J リーグで活躍した後に、海外へと活躍の場を移したが、その中でも大きな影響を受けたのがドイツ時代。ドイツではサッカークラブはチームの勝利を目指すだけでなく、地域に根差し**地域とともにスポーツのチカラで社会問題を解決**していた。そのドイツのクラブを理想として立ち上げたのが沖縄 SV。

クラブを設立して間もなく、**沖縄における様々な社会問題**を目の当たりにした高原氏が、中でも強い関心を示したのが「**農業**」における課題だった。沖縄の農業は農家の**高齢化、後継者不足**という大きな課題を抱えている。これらの課題解決には、「**若者がチャレンジしたくなるような作物**」すなわち、①今後、消費の拡大が予想され、②他農家と差別化でき、③六次化（観光）につながる農産物、の必要性を実感し、たどり着いたのが**コーヒー栽培**だった。

これまで、栽培研究を中心に行ってきたプロジェクトだが、今後の展開として高原氏が掲げるのは「**地域とのより密接な連携**」。2021 年から**北部農林高校との連携**を開始。苗木や種子を無償で提供し、高校の農場でコーヒー栽培を始める予定。

将来性のあるコーヒーという農産物の栽培を学生時代に体験することで、若手の農業従事者を増やし、未来のコーヒー農家を育成するとともに、高原氏をはじめとするサッカーチームのメンバーなどとの交流を通じて、**高校生のキャリア形成**にもつなげる。また、コーヒーは観光農園のような「六次化」の高いポテンシャルを持っている。沖縄 SV は、沖縄のコーヒーの収穫・焙煎・試飲体験ができる観光のメッカとしてブランディングしていくために農業法人の設立を予定している。



沖縄 SV はサッカーチームとして JFL 昇格、そしてその先の J リーグ入りを目指し日々トレーニングに励んでいる。それと同時に、沖縄コーヒープロジェクトのような活動を通して、**地域の課題に地域の人々と共にチャレンジ**することで、チームのファンを増やすとともに、選手のセカンドキャリアの可能性を拓ける取組にも注力していく。

近い将来、沖縄でスポーツチームと地域の人々がともに創り上げた「**県産コーヒー**」を県内外の多くの人々が楽しめる環境の構築を目指し、またその活動を通じて**農業が活性化し、若者が生き生きと働ける場所を提供**する。沖縄 SV が**描く未来**に大いに期待していきたい。

高原氏の取組が総探とどう関連しているのか？ 皆さん(1・2年生)の総探の大きな改善点の一つはテーマの解決に向け、**アクションを起こしている**かだ。その際、どれだけ**地域の人々と関わって課題解決の取組**ができていくかが重要なポイントになる。高原氏の取組は、沖縄の課題と深く関わり、**アクションを起こしている**のだ。

総探はテーマについて調べて終わりではなく、どのように行動して課題解決していくかが重要で、宜野湾高校総探の**独自性**はそこにある。『宜野湾高校の生徒達へ(79)』で紹介した**田口一成**さんも社会問題の解決を目指す**ソーシャルビジネス**に取り組んでいた。田口氏・高原氏の**生き様**は、総探の取組については勿論、皆さんの**これからの生き方**についても大きな示唆を与えてくれるはずだ。

沖縄県立宜野湾高等学校長 津留一郎